

平成29年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
43	県立若松商業高等学校	全日制

I 期選抜

大学科 小学科	募集 定員枠	志願してほしい生徒	選 抜 資 料				備 考
			志願理由書	調 査 書	面 接	そ の 他	
		<p>本校は、文武両道の学校づくりを推進し、勉学・資格取得・部活動をとおして人間力(学力・品格・徳性、コミュニケーション能力)を高め、社会に貢献する資質を持った生徒を育成している商業高校である。</p> <p>次のような生徒を求める。</p> <p>A型(学業): 専門高校の特色をよく理解して、勉学に意欲的に取り組み、資格取得に積極的に挑戦する強い意志があり、本校で学んだ知識をさらに深め技能を高めるために、大学などの上級学校へ進学する強い意志のある者、または本校で学んだ知識・技能を生かし、公務員あるいは企業への就職を希望する強い意志のある者。</p> <p>B型(部活動): 本校の指定する部活動において、顕著な実績を残した者または優れた能力を有する者で、入学後も3年間当該部活動に積極的に取り組み、勉学と部活動を両立する強い意志のある者。</p>	<p>本校の当該学科への志望動機及び将来の抱負、高校において特に学びたいことや活動したいことについて本人が記入する。</p> <p>B型(部活動)志願者については、裏面の「顕著な実績報告書」についても具体的に記入する。</p>	<p>A型(学業): 「各教科の学習の記録」は135点満点とする。「特別活動等の記録」は、点数化しないが精査する。</p> <p>B型(部活動): 「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動等の記録」は30点満点として、合計165点満点とする。</p>	<p>A型(学業): 個人面接を実施する。面接の内容には、中学校における学習活動の成果を問う内容(国語、数学、英語、理科、社会)を含む。面接については段階評価する。ただし、中学校における学習活動の成果を問う内容は点数化する。</p> <p>B型(部活動): 集団面接を実施する。面接については段階評価する。</p>	<p>作文を実施する。あるテーマについて、自分の考えを600字程度でまとめる。</p> <p>作文については、点数化する。</p> <p>B型(部活動)志願者については、実技も実施し、段階評価する。</p>	
		各科共通	各科共通	各科共通	各科共通	各科共通	

平成29年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
43	県立若松商業高等学校	全日制

商業科 会計ビジネス科	40% 程度	① 経済活動や会社経営に必要な会計処理の知識・技能を習得したい者。 ② 将来、公認会計士や税理士を目指したい者。 ③ 簿記検定試験等、資格取得に積極的に挑戦する者。					
商業科 情報ビジネス科	40% 程度	① 情報処理に興味を持ち、プログラムの作成について学習したい者。 ② 将来、情報処理技術者を目指したい者。 ③ 情報処理検定試験等、資格取得に積極的に挑戦する者。					

Ⅱ期選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の成績の比重	備 考
		学 力 検 査	調 査 書	面 接		
商業科 会計ビジネス科	(120)	5教科とする。	「各教科の学習の記録」は、195点満点とする。 「特別活動等の記録」は、点数化しないが精査する。	集団面接を実施する。面接については、段階評価する。	同等とする。	
商業科 情報ビジネス科	(80)					

平成29年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
43	県立若松商業高等学校	全日制

Ⅲ期選抜

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文（又は作文）	
商業科 会計ビジネス科	「各教科の学習の記録」は135点満点とする。「特別活動等の記録」は、点数化しないが精査する。  各科共通	個人面接を実施する。面接の内容には、中学校における学習活動の成果を問う内容（国語、数学、英語、理科、社会）を含む。面接については段階評価する。ただし、中学校における学習活動の成果を問う内容は点数化する。  各科共通	作文を実施する。あるテーマについて自分の考えを600字程度でまとめる。 作文については、点数化する。  各科共通	
商業科 情報ビジネス科				